

# もりやま障害福祉プラン 2024 の各基本目標の成果について

## 【基本目標 1】ともに理解し合い、支え合い、高め合うために ～地域で支え合える生活に向けた施策の展開～

主な成果:

○番号 1・4

もりやまふれあいフェアを「みんなのルシオールカーニバル」として他のイベントと同時開催し、障害福祉事業所による物品販売のほか、障害疑似体験や市内障害福祉事業所の紹介パネル・動画を作成・展示し、市民の障害理解を促進した。(参加者数約 4,000 人)

○番号 3

手話通訳者養成を目的とし、手話講座(入門・基礎)修了者向けのスキルアップ講座を、今年度から新たに開催した。(受講者数 11 人)

## 【基本目標 2】住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らすために ～相談支援体制の強化～主な成果:

主な成果:

○番号 3

身体的または精神的な理由で市の指定する収集日にごみを自ら集積所まで運ぶことが困難な方を対象に、令和 7 年度より「前日ごみ出し支援制度」を開始し、地域の生活支援体制を整備した。

## 【基本目標 3】自己の能力を活かし、自立した生活をめざすために ～就労支援等の自立に向けた施策の展開～

主な成果:

○番号 3

令和 7 年 10 月からの就労選択支援事業利用開始に向け、支援機関への周知啓発を行い、関係機関と協議を重ね、湖南圏域の具体的な体制整備を行った。

## 【基本目標 4】子どもの健やかな発達のために ～障害児に対する支援策の展開～

主な成果:

○番号 1

訪問相談等のアウトリーチ型支援を通じて、実際に校園を訪問し児童の様子を把握し、児童の見立てや支援方法についてアドバイスを行う等した結果、校園への訪問相談が大幅に増加し、現場支援が一層充実した。

○番号 3

医療的コーディネーターの配置により、医療的ケア児・家族等に対するより専門的な相談先が確保できた。あわせて、コーディネーターを中心とした医療・福祉・保育・教育の連携により地域での医療的ケア児等への支援体制の醸成が進んだ。

**【基本目標5】 求められる支援に寄り添うために  
～個々の特性に応じた支援の場の提供～**

主な成果:

○番号1

令和7年5月に県の「重症心身障害等施設整備事業費補助金」と市の補助金を活用し、重度障害者を受け入れるグループホームが開所した。

○番号2

「障害者施設等職員就職支援事業補助金」の周知啓発と、対象にグループホームと計画相談を加えたことにより、令和6年には7名の人材確保につながった。

**【基本目標6】 安全・安心なまちづくりのために  
～生活環境・災害・緊急時の支援体制の構築～**

主な成果:

○番号1

特に個別避難計画の作成が求められるハイリスク層の迅速な計画作成を実現するために協議を重ね、丁寧な作成支援のもと、対象者のことを理解している専門職の支援者へ個別避難計画の作成を委託した。各層に対して、地域をはじめ、関係機関等との協議のもと、来年度からの更なる計画作成を進める。

**【基本目標7】 必要な支援・サービスが円滑に提供されるために  
～人材確保・育成の推進～**

主な成果:

○番号2

入所施設就職補助金について市広報に特集記事を掲載。インタビューする職員を若い世代にすることで福祉現場の声をよりリアルに感じ取ってもらえるよう制度周知を工夫した。